

人の縁とは不思議なもので

校長 武井 正明

今朝は皐月晴れだ。カラッとした青空を背に吉中生達が登校してくる。なかなか気温が上がらない今年の春だけど、こういうもどかしいのも時にはいい。



自分の気持ちも晴れやかだ。それには理由がある。

友人同士が再婚したという吉報が届いたから。

旦那さんとは、特別親しかったわけではない。亡くなった元奥様と彼は学生時代からの付き合いだった。傍から密かに、いいなあと指をくわえて見ていたものだ。

それが結婚後に病気で奥様が亡くなったと聞いた。その後の彼の日々が、どれほど虚しく、切ないものだったかは想像に難くない。

新婦は国語指導で知らないことはない才女だ。私が教育委員会時代は、よくわからない小学校低学年の題材を、彼女に尋ねてたくさん教えてもらった。授業研究に熱心で、周囲をパッと明るくするバイタリティがある。その彼女も離婚を経験し、その後も涙をこらえて、明るく逞しく、必死に頑張ってきた。そして今春彼女は、教職人生を終えた。

そのふたりが、新たな人生を共に歩き始めたという。

穏やかな、優しい旦那さんに、笑いの絶えない奥さん。想像してみれば、こんなお似合いのふたりはいないな。寂しかった彼の庭に、バラが咲いた。

これまでの苦しかったり、切なかったりした分が、今度は半分以下になる。そして、ふたりの結婚を一番喜んでいるのは、きっと天国にいる奥様だろう。

吉中の皆さんも将来、多くの人たちが結婚することでしょう。

今の社会、勿論結婚が総てではありません。私の親友など「ひとりが一番気楽で楽しい。お前の気持ちがわからない」なんて、よく言っています。

人の「縁（えにし）」というものは、実に奥が深い。

これを大事にすると、人生は豊かになります。ひとりも楽しいけれど、ふたりも楽しい。不思議な縁が、糸のように繋がる。（夫婦の場合「赤い糸」ですね）そして、それは星座のように広がっていく…。何万光年の宇宙の歴史の中で、運命で人と人が結ばれる奇跡。おふたりの話を聞くと、人生っていいな、としみじみ思う。

吉中の皆さんにも、これからいっぱい、良い出逢いが待っていますように。

おふたりのしあわせを、心よりお祈りしています。本当によかった。おめでとう!!